

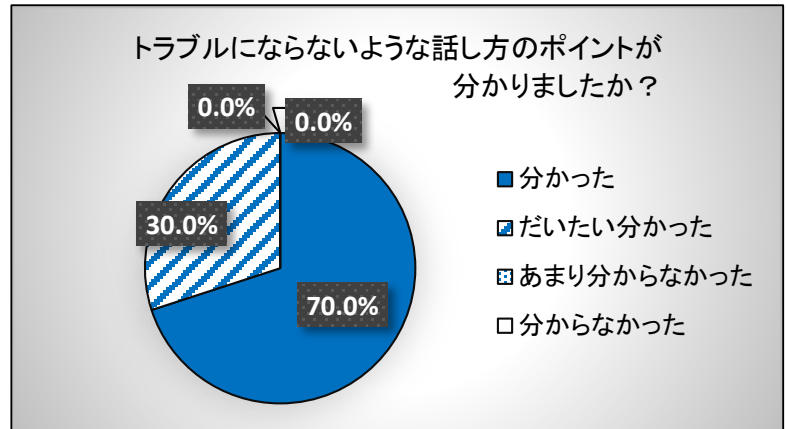
授業を振り返って②＜高等学校＞

「トラブルにならないような話し方をしよう」

視点Ⅰ 本時のねらいを達成できたか(◇印は、展開案やワークシート等の修正に関する内容です。)

1 トラブルにならないような話し方の理解について

- 振り返りシートの「トラブルにならないような話し方のポイントが分かりましたか」の質問に対して、「できた」「だいたいできた」と回答した生徒の合計は100%でした(資料1)。話し方のポイントがスライドで提示されるたびに、生徒は自主的にワークシートの空欄を埋めるなど、意欲的に参加して理解を深めていました。



資料1 話し方のポイントの理解についてのアンケート結果(振り返りシートより)

- 話し方の3つのモデリングを見て、「気持ちのよい話し方のどういうところがよかったか」という教師の発問に対しては、積極的に意見が出ていました。
- ワークシートに記載したモデリングⅢのシナリオを確認後、スライドを用いて話し方のポイントを考えさせたため、生徒は真剣に取り組んで意見を発表していました。
- ◇ 教師のモデリングでは、Bの話し方に着目させる予定でしたが、Aの話し方にも着目する生徒がいたため、モデリングの前にBの話し方に着目させる指示を展開案に追加しました。

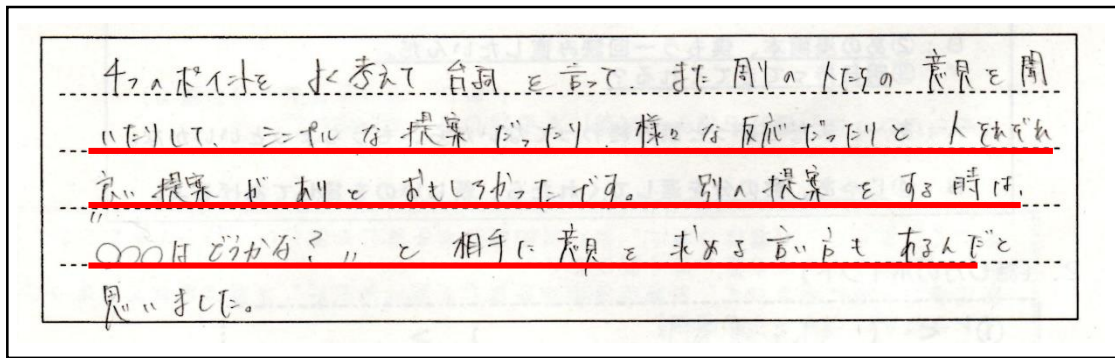
2 トラブルにならないような話し方の練習について

- 生徒にとって身近な掃除の場面を設定したため、生徒は4つのポイントを用いた台詞作りにスムーズに取り組んでいました(資料2)。

B: ねえ、(① 最近 僕には黒板拭きばかりしか回って) <事実を確認する>
 A: あ、うん。
 B: (② たまには違う掃除もしたいんだ。) <自分の気持ちを伝える>
 (③ だから、かわってくれない?) <どうしてほしいのかを提案する>
 A: えー、今日から?
 B: (④ 明日から、1日交代でしていくのはどうかな?) <別の提案をする>

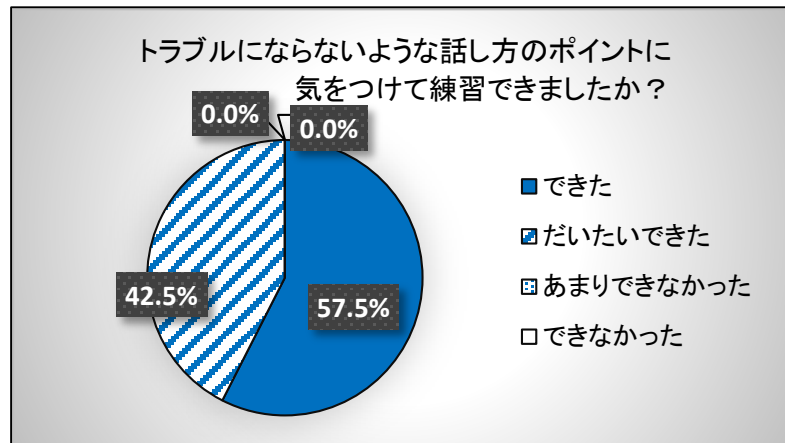
資料2 4つのポイントを使って作成した生徒の台詞

- 教師がA役を務め、数名の生徒がB役となって発表し、発表された台詞のよかったところについて活発な意見交換ができました(資料3)。



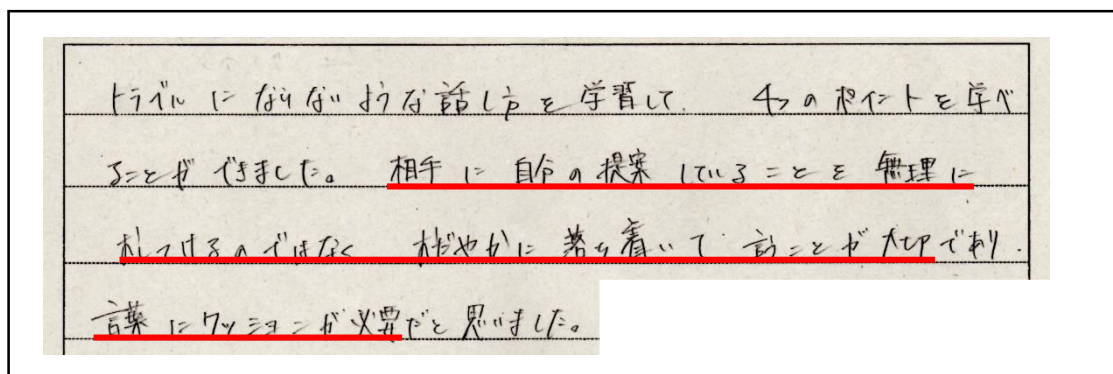
資料3 台詞作りを通した生徒の気づきや感想

- 振り返りシートの「トラブルにならないような話し方のポイントに気を付けて練習できましたか」の質問に対して、「できた」「だいたいできた」と回答した生徒の合計は100%でした(資料4)。台詞の例をスライドで示したため、自分で台詞を作ることができなかった生徒も、その後の練習に参加することができました。



資料4 話し方の練習についてのアンケート結果
 (振り返りシートより)

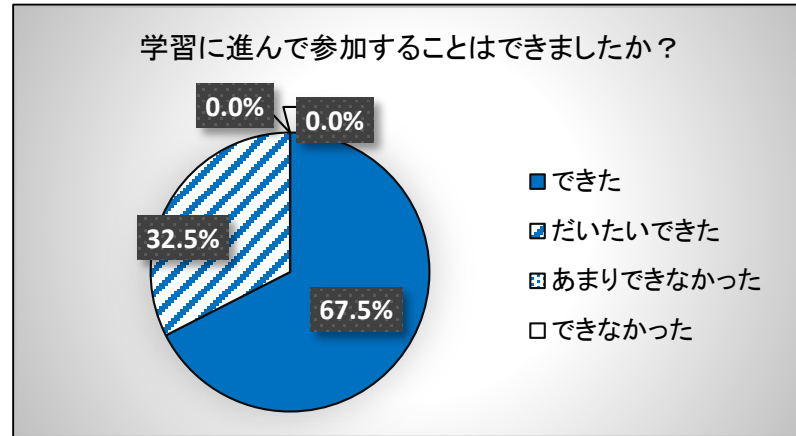
- 練習に際して、相手を責めるような言い方をしないなどの補足説明を行ったため、生徒は言い方や話すときの表情、態度等にも留意して練習に臨むことができました(資料5)。



資料5 話すときの表情や態度についての生徒の気づきや感想

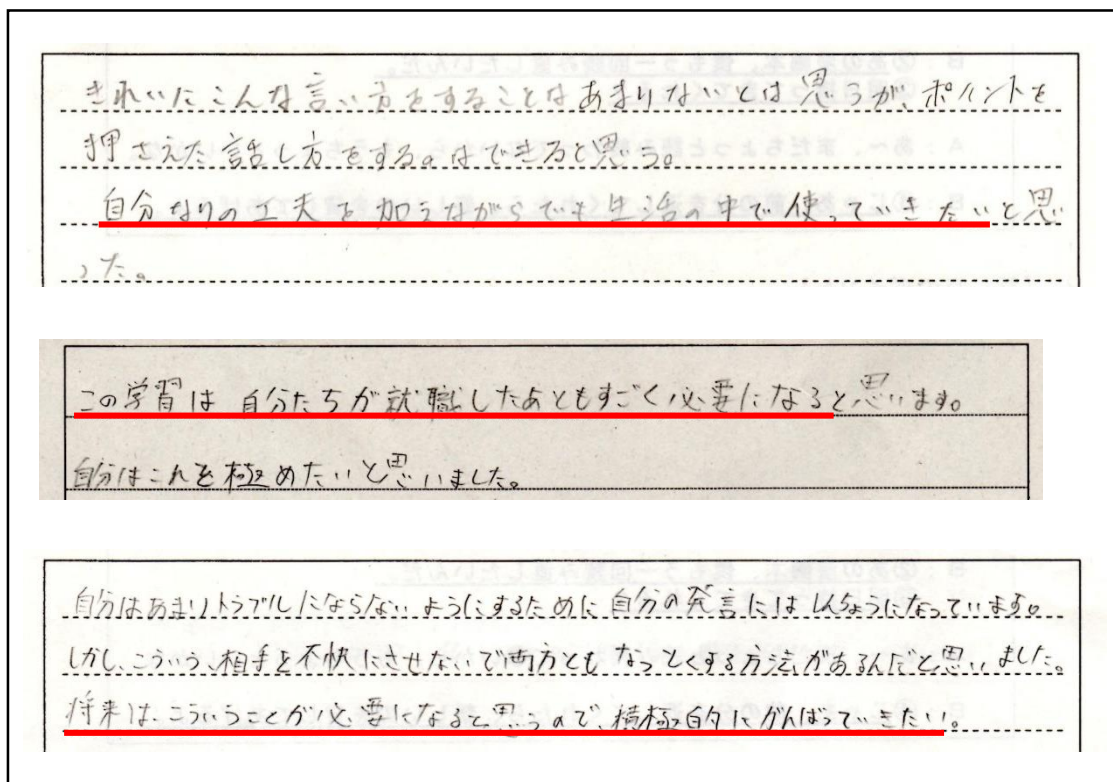
視点Ⅱ 次時につながる内容であったか

- 振り返りシートの「学習に進んで参加することは練習できましたか」の質問に対して、「できた」「だいたいできた」と回答した生徒の合計は100%でした(資料6)。教師の発問に対して活発に発表し、ワークシートにも熱心に取り組んでいました。また、話し方のポイントを使った練習にも意欲的で、最後まで明るい雰囲気です授業に参加していました。



資料6 学習への参加状況についてのアンケート結果
(振り返りシートより)

- 本時で学習した内容について、今後の生活で活用したり将来必要になると考えたりする生徒が多く、本時の学習内容が次時の学習につながる内容であったことが分かりました(資料7)。



資料7 授業内容についての生徒の気付きや感想